

飯田のふるい振盪機 ロータップ型

PAT. No. 531413 No. 531414

弊社は、標準ふるい、ふるい振盪機の専門メーカーとして40余年に亘る長年月の間、たゆまぬ研鑽を続けて参りました。その卓越せる技術と多年の経験とによって生産した振盪機の内、代表的な二機種をここに紹介すると共に自信を以てお励めいたします。

概要 ●

本機は、弊社が多年の研究と経験の結果、使用される側の立場に立って従来のロータップ型の種々の欠点を取り除き、構造及び性能の合理性（操作の迅速性と確実性）を最高限度まで追求したものであります。ロータップ型の傑作と評され現在各分野で広く御使用いただいております。1台1台に真心を込めて生産して居りますので、安心して御使用いただけます。

仕様 ●

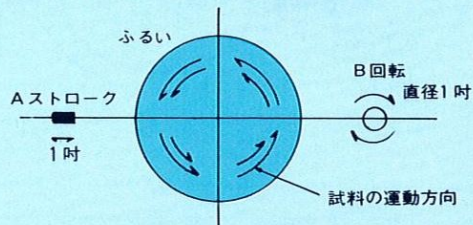
- ・電動機 0.2KW (1/4HP)
- ・タイムスイッチ附属
- ・回転数 60Hz 290r.p.m 50Hz 246r.p.m }
- ・衝動数 60Hz 165r.p.m 50Hz 145r.p.m }
- (50Hzの場合も60Hzと同数の回転数に変更可能)
- ・容積 幅615×奥行310×高さ900mm
- ・重量 130kg
- ・使用出来るふるいのサイズと一度に使用出来る最高個数
- 内径200mm(又は203mm)×深さ45mm }
- 内径150mm(又は152mm)深さ45mm }
- 7種と蓋及受器計8段

特長 ●

1. 効率がよく、あらゆる試料の分析に使用出来ます。
2. 電動機を機体内に内蔵し、鼓打軸も回転軸管内に遊挿すると共に鼓打ハンマーを一对の支柱の片方に併設しましたので、据付面積は従来のロータップ型の2分の1ですみます。
3. 回転部の全てにベアリングを使用して居りますので、回転を円滑にし耐久性を著しく増大しました。
4. 弊社独得の合理的な構造による操作の迅速性と確実性
5. ハンマーの過激な衝撃を適度な衝撃に換えるためにハンマー止め、ふるい受皿スプリングを設けてあるのは当社のロータップ型だけです。
ふるい受皿スプリングは、本来の廻転の他にふるい内の試料の動きに上から鼓打ハンマーの衝撃を受けて上下の動きをも与えますので、ふるいの網面に当る粒子の交換を活発にして分析効率を高めているだけでなく、ふるいの目づまりを最小限度にまで押えております。



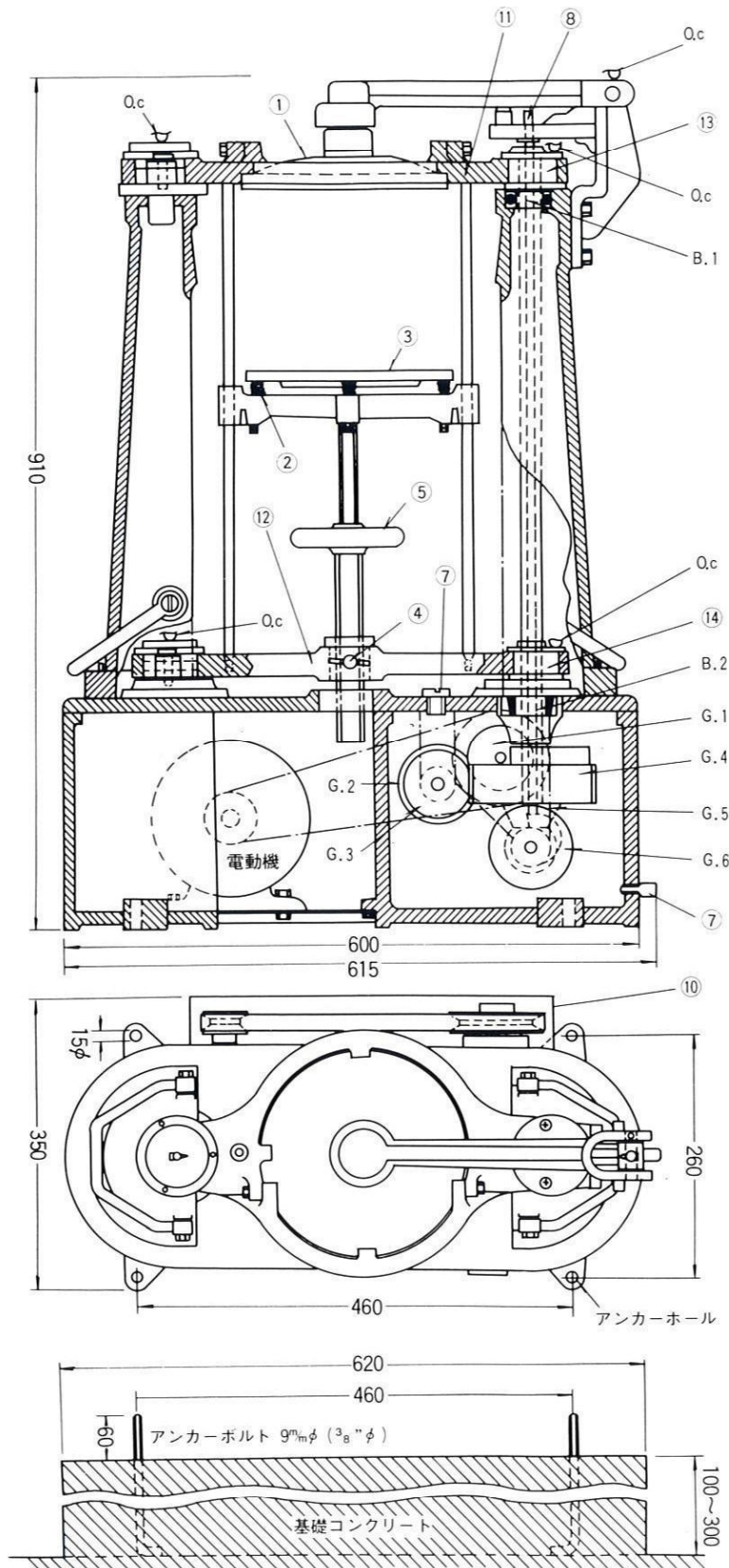
ロータップ型振盪機運転中の、ふるいの運動状態と、ふるい内の試料の運動状態



ロータップ型の運動状態は、一方の端Aに於て往復直線運動をし、他方の端Bに於て回転円運動をして居ります。

そのAとBの連継の運動によってふるいの部分は卵形円運動をして居ります。ふるい内の試料の運動は、ふるい自体の運動と反対方向にゆるやかに回転しています。これに加えて鼓打ハンマーの上からの衝撃と、その衝撃を受けて働くふるい受皿スプリングの下からの反撥との上下両面の衝撃運動が起ります。すなわち、回転運動、鼓打ハンマーの上からの衝撃、ふるい受皿スプリングによる下からの反撥作用、この三つがバランスよくふるい内の試料に加えられるのが従来のロータップ型にない優れた効率を発揮する秘密です。

ロータップ型 ふるい振盪機 仕様図 (基礎図・パーツリスト)



〈仕様〉

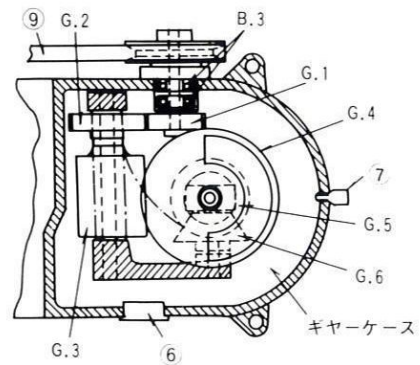
- 電動機 0.2KW 4 P
- 回転数 60Hz290r.p.m
50Hz246r.p.m
- 衝動数 60Hz165r.p.m
50Hz145r.p.m

※50Hz地区での使用で60Hzの回転数、衝動数を御希望の際変更可、注文時にその旨御指示下さい。

- タイムスイッチ附属

[標準ふるいは附属して居りません]

No.	名 称
①	ふるい押え蓋
②	ふるい受皿スプリング
③	ふるい受皿
④	ふるい位置固定締付ネジ
⑤	ふるい上・下移動用操作ハンドル
⑥	オイル (No.46 マシン油) ゲージ
⑦	オイル注入・抜き取りネジ
⑧	鼓打ハンマー上・下作動用シャフト
⑨	Vベルト (A-31)
⑩	ベルトカバー
⑪	上部駆動部
⑫	下部駆動部
⑬	偏心メタル (上部)
⑭	偏心メタル (下部)
B.1	ベアリング (6205)
B.2	ベアリング (E 30205 J)
B.3	ベアリング (6202)
G.1 ~ G.6	ギヤー ギヤー伝達順序 G.1 G.2 G.3 G.4 G.5 G.6
O.c	オイルキャップ (5箇所)



代理店



株式会社 **飯田製作所**
 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1丁目6番3号
 電話 大阪 (06) 6941-3122
 FAX. (06) 6947-1765